

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/seikansensho/>

これは急増する梅毒患者数の伸びです。梅毒をはじめ性感染症は、みなさん誰でもかかる可能性のある病気。

逆に、一人ひとりが正しい知識を持ち、適切な行動を心がければ誰でも予防や感染拡大防止をすることができます。

性感染症の正しい知識と適切な行動のために



<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/seikansensho/elearning/index.html>

各病気の知識 Knowledge

「性行為で感染する病気」を総称して、性感染症（STI※）といいます。

ウイルス、細菌、原虫などが、性器、泌尿器、肛門、口腔などに接触することで感染します。

しかし、症状が軽かったり、なかったりすることもあり、気がつかない間に感染していることがあります。

STI（STD）とは、Sexually Transmitted Infections（Diseases）の略です。

梅毒 HIV/エイズ 性器クラミジア感染症 淋菌感染症 性器ヘルペスウイルス

感染症 尖圭コンジローマ トリコモナス症 性器カンジダ症 A 型肝炎

B 型肝炎 その他の性感染症

e-ラーニング

ゲーム感覚で梅毒に関する正しい知識・予防方法などを学ぶことができます。

- 梅毒の発生状況（3問）[チャレンジ](#)
- 梅毒の基礎知識（4問）[チャレンジ](#)
- 梅毒の予防方法（3問）[チャレンジ](#)
- 梅毒発症時の対処方法（3問）[チャレンジ](#)
- 梅毒の全ての問題に回答する（全13問）[チャレンジ](#)

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02560.html

第11回日中韓三国保健大臣会合共同声明を採択しました。平成30年11月27日（火）大臣官房国際課11月24日・25日に、熊本において第11回日中韓三国保健大臣会合が開催されました。日本からは根本厚生労働大臣が出席したほか、中国からは馬国家衛生健康委員会主任が、韓国からは朴保健福祉部長官が、それぞれ出席しました。今回の会合では、感染症に対する健康危機管理、高齢化対策と非感染性疾患、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）と災害対策などの課題に関して意見交換を行いました。

本会合の成果として、アジア地域を主導する3か国の協力強化をまとめた共同声明を採択しましたのでお知らせいたします。

<https://www.mhlw.go.jp/content/10501000/000410148.pdf>

第11回日中韓三国保健大臣会合共同声明（概要・仮訳）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10501000/000410149.pdf>

第11回日中韓三国保健大臣会合共同声明（仮訳） 2018年11月24-25日 熊本 日本

我ら、日本、中国、韓国の保健大臣は、2018年11月25日、日本・熊本で会い、第1回三国保健大臣会合以降の成果を確認し、今後の保健分野の協力の枠組みについて議論した。今回の会合の議題は、感染症に対する備えと対応、健康な高齢化と非感染性疾患（NCDs）、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）と災害時の健康リスク・マネジメントであった。